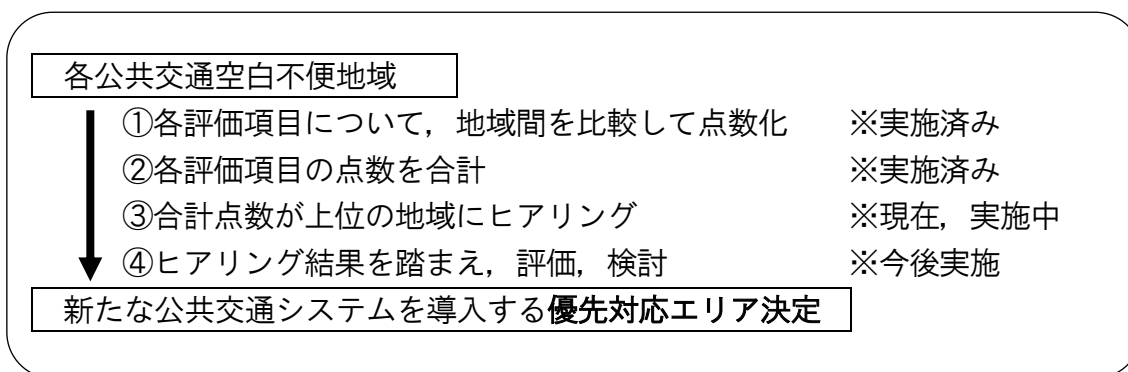


公共交通空白不便地域における優先対応エリアの選定について

評価の流れ（進捗状況）



1 地域別評価について

(1) 評価項目について

前回の地域公共交通部会では，各地域を「人口」，「世帯構成」，「環境」等の観点で評価することとした。

実際の評価に当たって指標とした項目は以下のとおり。

- ①人口の状況：【指標①】人口密度（人/ha）
 【指標②】65歳以上高齢者人口
 【指標③】65歳以上人口の占める割合
 →利用対象者の実数，割合の観点で評価
 →新たな公共交通の持続可能性を検証
- ②世帯の状況：【指標④】75歳以上のみ世帯人口
 【指標⑤】75歳以上の独居世帯割合
 →移動制約状況が高い高齢者世帯を実数と割合の観点で評価
 →新たな公共交通の利用可能性を検証
- ③居住環境：【指標⑥】商業施設立地状況
 【指標⑦】土地の高低差
 →日常の買い物が不便な状況か，徒歩・自転車移動が不便な状況か評価
 →新たな公共交通の必要性を検証

(2) 評点について

- ①人口の状況：【指標①～③】について
- ②世帯の状況：【指標④，⑤】について
 →11地域の平均値以上かつ中央値※以上の場合は3点，いずれか以上の場合は1点とした（※中央値とは数値を大きい順又は小さい順に並べたときの真ん中の値）
- ③居住環境：【指標⑥】について
 →各地域から商業施設まで300m圏外であることを目安に1点とした
 ：【指標⑦】について
 →地域内の平均標高差が10m以上あることを目安に1点とした

(3) 先行してヒアリングを実施する地域について

→評点の合計値の上位4地域（全体の約1/3程度）について、先行して地域ヒアリングを実施することとする。上位4地域は以下のとおり。

- ① 根戸，布施，宿連寺の各一部地域
- ② 松ヶ崎の一部地域
- ③ 常盤台，永楽台，日立台，あかね町，ひばりが丘の各一部地域
- ④ 東山，西山の各一部地域

2 4地域から優先対応エリア選定までの検討の進め方について

(1) 各地域内の一部の町会を対象としたアンケートを実施 ⇒6月上旬～実施中

→各地域における住民の日常の移動（買い物，通院）状況や交通に関する意識等を確認する（アンケートは「議題1参考資料①」，配布先は「議題1参考資料②」のとおりに）

→地域住民が新たな公共交通を本当に必要としているか確認する

(2) 各地域内の一部の町会長，役員，老人会などの地域の団体等にヒアリングを実施

→アンケートで拾いきれなかった意見等を確認するためヒアリングを実施する。

→ヒアリングを実施していく中で，地域のキーマンを探り，新たな交通の運行に関する地域協議会を設立し取り組みを進めていくことが可能か確認する

→地域が主体となった運行が可能か確認する

※地域主体で運行する理由

- ①地域の状況は地域の方が一番よく知っており，必要な人に必要な移動手段を確保できるため
- ②自分たちの交通手段という意識を持つことで，乗車率を高めることにつながるため

3 今後のスケジュール

アンケートの集計結果を次回の部会（10/1を予定）で示し，優先対応エリアの確定に向けた検討を進めていく。その後，地域の方等と地域協議会設立に向けた調整を進めていく。

4 その他

・今回先行してヒアリングを実施する4地域以外の地域については，4地域における対応に目途がつき次第，対応の検討を進めていく。

・別途，柏ビレジ自治会から地域の交通に関する相談を受けており，自治会独自で交通に関するアンケートを実施するとのことであったので，あわせて，市の交通に関するアンケートも配布している。

→地域が主体となった公共交通の運行意向のある地域については，状況に応じて，市も協力していくこととする。